

日本WHO協会 第19回関西グローバルヘルス(KGH)の集い

オンラインセミナー第4弾

COVID-19
そのとき、

現場は動いた！

第3回

教育・学校編

【話題提供】

堀川 理介 氏 (大阪教育大学附属高校平野校舎)

小島 祥美 氏 (東京外国語大学多言語多文化センター)

【コメンテーター】

小笠原 理恵 氏 (大阪大学大学院人間科学研究科)

【ファシリテーター】

中村 安秀 氏 (日本WHO協会)

● ミニ・パネルディスカッション

日時: 2021年12月1日(水) 19:00~20:30

※1週間の見逃し配信あり！(見逃し配信にも参加登録が必要です)

2020年2月27日に突然、安倍晋三首相(当時)が全国の小中学校に臨時休校を要請してから、ほぼ1年9カ月が過ぎました。この間、日本の現場力には、さまざまな点で賞賛の声があがっています。今回のテーマは、「教育・学校」。日本では、新型コロナウイルス感染症の影響を真っ先に受けたのが、学校の子どもたちでした。子どもたちを守り、日常を取り戻すべく奮闘した教師たち。そして、辺縁化された環境のなかで暮らす外国人の子どもたちに何が起きていたのか？

今回のような社会全体の危機のなかで、日本の未来を担う子ども世代をどう守るのか。私たちの社会の持続可能性が問われています。

参加方法

右記QRコードまたは<https://forms.gle/4x3pPyCfz777LRdU8>から、お申込み下さい。後日YouTubeのリンクをメールでお送りします。

お問い合わせ 関西グローバルヘルスの集い運営委員会

kansai.gh.tsudoi@gmail.com (メールでお問い合わせ下さい)

